

第62回全国高校定時制通信制生徒生活体験発表大会の県大会（県高校定時制通信制教育振興会など主催、読売新聞秋田支局など後援）が8日、秋田市中通の県立秋田明德館高校で開かれた。5校から計9人が参加し、最高賞の県教育長賞に秋田明德館高校定時制3年の佐藤愛理花さん（21）が選ばれた。

最初に入学した高校になじめず、半年で中退した佐藤さんは、18歳になって訪れた公共職業安定所で、高卒以上という募集条件がほとんどだったことに驚く。「3年間私は何をしていただろう」と定時制で学ぶことを決める。年下しかいないクラ

佐藤さん 最高賞

定時制通信制生活発表会

すが最初は苦痛だったが、学校生活を続けていくうちに打ち解けた。「学びたい気持ちがあれば年齢なんて関係ない」という気持ちになることができた経験を「ちっぽけなこと」と題して発表した。

があったが、大会を通し過去を受け止めることができた」と喜びを語った。

佐藤さんは11月23日に東京の六本木ヒルズで行われる全国大会に出場する。

そのほかの受賞者は次の通り（敬称略）。

NHK秋田放送局長賞・秋田明德館高定時制1年深谷香穂▽読売新聞秋田支局長賞・横手高定時制2年佐藤杏樹▽優良賞・角館高定時制2年坂本真陽子、大館高定時制4年工藤露弥、横手高定時制1年小田嶋沙和



佐藤愛理花さん

受賞決定後、佐藤さんは「最初は自分のことを話すのに抵抗